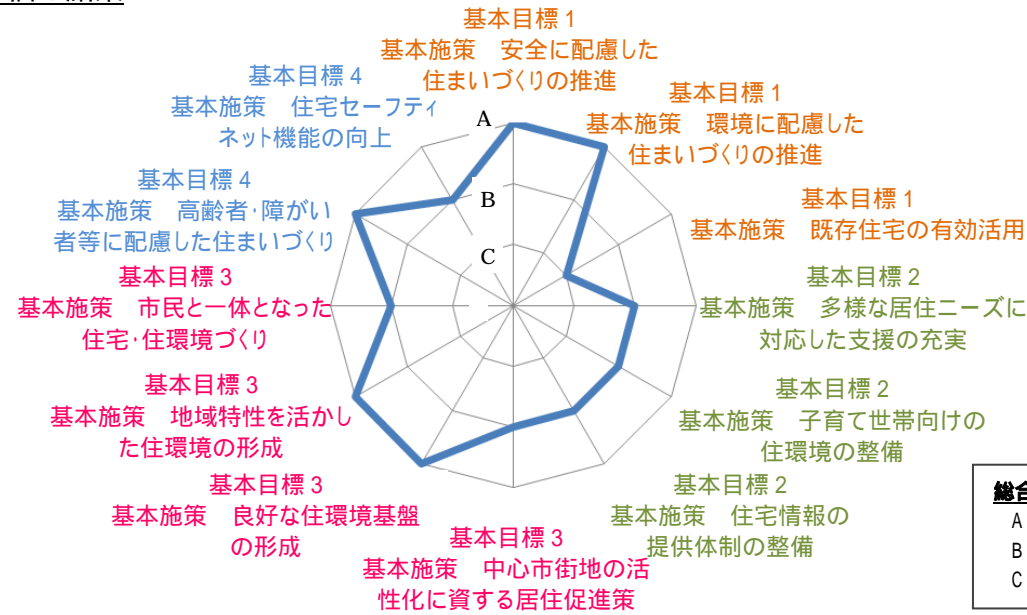


取組評価の結果



総合評価結果の凡例

- A: 概ね順調
- B: 取組中
- C: 不十分

※評価の詳細は参考資料5参照

現行計画実績評価の目的

現行計画の進捗状況について、各担当課による取組状況と計画書に記された指標ごとの達成状況を把握することにより、計画遂行上の問題点を検証し、新たな計画における課題を探る。

総合評価結果

平成20年3月に策定した「宇都宮市住生活基本計画」に基づき、総合的かつ計画的な住宅関連施策が着実に推進されている。

取組評価

- 概ね計画に位置づけられた基本目標に応じた取り組みが行われている。
- 「基本目標1 基本施策 既存住宅ストックの有効活用」については、評価時点においては取組不十分となっているが、国においてもストック重視の方向性が打ち出され、本市においても本年度より住宅改修補助制度が開始されたところであり、今後さらなる取組強化を図る。
- 基本施策を構成する「主要な取組」のうち不十分と評価された取組について、今後の方向性も踏まえ評価

郊外住宅団地の再生...大規模住宅団地等において空き家が顕在化しつつあることから、空き家の実態把握に取り組みとともに、対応策について今後さらに検討を進める。

分譲マンションの管理適正化...分譲マンションについては、今後老朽化の進行による長寿命化対策や建て替えニーズの発生が見込まれることから、官民連携による対応策について今後さらに検討を進める。

持ち家取得に対する支援の充実...人口減少社会を迎えるなか、持続可能な都市の実現に向けては定住促進・人口流入促進策が重要となることから、有効な持ち家取得支援策について今後さらに検討を進める。

県との連携による住宅情報ネットワーク化の推進...多様な居住ニーズに対応できる住宅情報の提供に向けては、県・事業者等多様な主体との連携が重要であることから、効果的な情報提供のあり方について今後さらに検討を進める。

達成評価

- 現状推計値を基準にした現状値の指標達成状況は、多くの項目で8割を越えており概ね順調。
 - 「(市営住宅)建替予定団地」では目標値に向けた取り組みが遅れているが、今後計画的な建て替え事業を着実に推進する。
- 全体として、これまでの計画を推進するための取り組みは概ね良好に進められてきている。

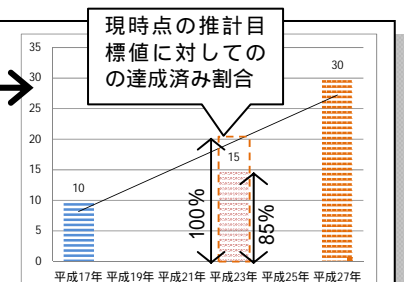
市民意向、社会状況等を踏まえた今後の課題

- ネットワーク型コンパクトシティの実現に向けて、街なか居住に向けた支援や住環境の整備、魅力の発信等の継続的な取り組みが必要
- 今後も空き家が増加する見込みであり、既存ストックの活用に向けた様々な取り組みが必要
- 高齢化の更なる進行、障がい者数、生活保護世帯数の増加等を踏まえ、住宅セーフティネット機能の向上に向けて継続的に施策を推進することが必要
- 行政のみならず住宅関連事業者、居住者、保健・福祉サービス提供者、地域団体等、住生活に関わる多様な主体が相互に連携・協力し住宅・住環境づくりを推進していくことが必要

凡例【指標達成率】

- 80%以上
- 60%以上 80%未満
- 40%以上 60%未満
- 20%以上 40%未満
- 20%未満 (0%以下も含む)

- *1 現状推計値とは、計画策定時の現状値と目標値を結び、当該年度での目標推計値に際して現時点の達成済み割合を示した値を指す。
- *2 土地区画整理事業の実績値は市町村合併があったため、現況で目標値を上回る整備量となっている。
- *3 居住面積水準は、平成15年と平成20年の住宅・土地統計調査の間に指標値の見直しが行われたため、最低居住面積水準未達率の評価は行わない。



達成評価のまとめ

基本目標	現行計画					指標達成率	
	指標名	現状値		目標値		目標値を基準	現状推計値を基準*1
		値	年次	値	年次		
(1)安全で環境にやさしい住まいる	住宅の耐震化率	84.1%	平成23年	90%	平成27年	39.2%	98.8%
	一定の省エネルギー対策を講じた住宅ストック率	24.0%	平成20年	40%	平成27年	29.1%	89.4%
	区画整理事業による道路整備延長	1.9km	平成22年	2.5km	平成22年	76.0%	76.0%
(2)多様な市民ニーズに対応する住まいる	市民の住宅に対する満足度	72.9%	平成24年	67%	平成27年	176.6%	112.0%
	子育て世帯における誘導居住面積水準達成率	51.0%	平成20年	55%	平成27年	74.3%	111.1%
	地域優良賃貸住宅(一般型)の供給戸数	271戸	平成23年	446戸	平成27年	25.2%	82.4%
(3)宇都宮の魅力を活かし高める住まいる	中心市街地の居住人口	16,401人	平成23年度	17,600人	平成27年	5.2%	95.1%
	持家率	58.7%	平成20年	60%	平成27年	71.7%	102.4%
	地域まちづくり計画策定取組地域数	14地域	平成23年	39地域	平成27年	35.9%	53.8%
	市街地再開発事業により供給された住宅戸数	419戸	平成23年	800戸	平成27年	39.7%	80.7%
	土地区画整理事業の整備累計面積*2	2,213.6ha	平成23年	2,128ha	平成24年	136.7%	106.0%
	地区計画の決定件数	22地区	平成23年度末	24地区	平成24年	60.0%	95.7%
(4)安定した生活を営む住まいる	最低居住面積水準*3未達率	6.7%	平成20年	早期解消	平成27年	-	-
	高齢者のいる住宅の一定のバリアフリー化率	36.2%	平成20年	75%	平成27年	25.4%	81.1%
	高齢者のいる住宅の高度のバリアフリー化率	8.9%	平成20年	25%	平成27年	19.4%	66.5%
	高齢者にやさしい住環境整備事業の補助件数/累計件数	25件/513件	平成23年度	50件/880件	平成27年	31.6%	84.1%
	シルバーハウジング・プロジェクト住宅の供給戸数	72戸	平成23年度末	96戸	平成27年	0%	88.9%
	建替予定団地	0	平成23年度	富士見団地、宝木団地	計画期間内	0%	0%
	公営住宅供給戸数	1,099	平成23年度	4,300戸	平成20~27年の8年間	25.6%	51.1%